

市議と市の課題議論

清水区で政治セミナー

静岡市清水区の江尻生涯学習交流館でこのほど、市民が市議と政治や社会について語る「ヤングカレッジ政治セミナー」が開かれた。

セミナーは静岡市から委託を受け、NPO法人ヤングカレッジ（同区）が企画した。清水区選出の風間重樹、後藤哲朗、深沢陽一の3市議と市民約30人が参加した。

政令指定都市の中で

も、特に少子高齢化が進む静岡市の現状などをテーマに、参加者が車座になって和やかな雰囲気でも議論した。

子育て世代の参加者からは「共働き家庭で、子どもが病気になる则会社を休まざるを得ない」という声上がる一方、会社経営の男性からは「子どもへの病気を理由に度々休まれると、正直困る」という本音も漏れた。

夫が日本人の中国出身の女性からは「結婚当初は、年中残業して帰って

くるのに驚いた」仕事と余暇のバランスについても意見が出た。



車座になって市議と語る参加者

＝静岡市清水区の江尻生涯学習交流館